

2021.5.11

## 日本歯磨工業会設立 50 周年記念式典開催・歯と口の健康週間キャンペーン発表



2021年5月11日、日本歯磨工業会設立50周年記念式典及び「歯と口の健康週間」キャンペーン説明会がオンラインで開催されました。式典・説明会には、濱逸夫会長をはじめ、当工業会の役員、委員、賛助会員が参加し、また、ご来賓として、経済産業省、日本歯科医師会、日本歯科衛生士会、各業界団体・マスコミ関係者の皆さまもお招きして、参加者は合わせて約100名となりました。

記念式典では濱会長のご挨拶の後、設立50周年記念誌「50年のあゆみ」の紹介や、新コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」制定の経緯と発案者の表彰、新啓発冊子「お口のセルフケアハンドブック」の紹介が行われました。

濱会長はご挨拶の中で、当工業会と会員各社が、厚生労働省、日本歯科医師会などと連携して口腔衛生啓発に努め、各監督官庁ご支援のもと、生活者の健康増進に資するよりよい口腔セルフケア製品の開発と普及を行い、その結果、液体剤型を除いた工業会各社の歯磨出荷金額は1971年の工業会設立当初に比べ2020年には約3倍の1,115億円に拡大、液体歯磨・洗口液はこれに上乗せする形で、2020年には歯磨類全体の3割弱にあたる417億円にまで成長したことを説明されました。

また、2018年に制定した「使命」(人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する)と5つの「ビジョン」(①オーラルケア情報と手段を提案する最も身近な存在、②口腔セルフケアの新たな可能性を開拓・提案する存在、③世界の口腔衛生の発展に貢献する存在、④行政、業界諸団体と協働し、健康づくりに貢献する存在、⑤快適な生活を支えるために、環境に配慮する存在)を改めて説明され、さらに今年度の設立50周年に際して、会員、賛助会員の応募から選出した新たなコンセプトメッセージを定めたことを説明されました。

当工業会は、今後もこのメッセージの趣旨を生活者の皆さまに広く伝えながら、年齢ごとのライフステージに合わせた口腔衛生のより良い習慣づくりの普及啓発に努め、国民の健康寿命延伸に貢献して参ります。

続いて行われた「歯と口の健康週間」キャンペーン説明会では、「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)にあわせて、新コンセプトメッセージの主旨を広めるためのクイズやメッセージアート募集のキャンペーンを実施することなど、今年度の工業会活動や最新の歯磨出荷統計が発表されました。